

中央署跡地111億円で落札

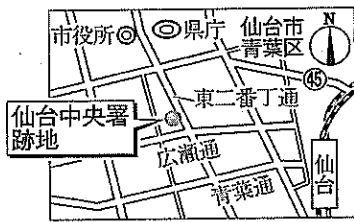
仙台

東京の特定目的会社 予定価格の3倍

仙台市青葉区一番町に、約一ヘクタールの一般競争入札が二ある宮城県有地「仙台中央署跡地」(約三千平方代田区の)は、はて特定目



「超高値落札」となった仙台中央署跡地



的会社)が、応札した九件中、最高額の百一億千百万円で落札した。落札額は県の予定価格(三十四億六千三百万円)の三・二倍に上った。同社は具体的な土地利用について明らかにしていない。(24面に関連記事)

はて特定目的会社は二月二十四日に設立されたばかり。関係者による

跡地は国が民間プロジェクトを支援する「緊急整備地域」内にあり、「都市再生特別地区」の特例などで大幅な容積率緩和が可能だ。商業施設の建設が有力とされ、「容積率を緩和して、土地を最大限活用できる規模になるのではないか」(不動産業者)と話す。

はて特定目的会社の荒川真司取締役は「出資企業や事業内容などは一切、コメントできない」と話した。

特定目的会社(SPC)は不動産を証券化し、利益を配当するのが一般的だ。テヘロップが直接不動産を購入する場合に

比べ、融資や税制上の優遇措置が受けられる。仙台市内では、証券化を狙う大手ファンドの参入で不動産取得の競争が激化。市中心部の一部では高値取引が行われ、地価上昇の要因にもなっている。

今回の落札結果について

RAKUTEN
EAGLES
3/28ホーム開幕戦
チケットあります!
5月開催試合・明日チケット発売!
3/26(日)フルスタ宮城無料見学会!
本日第2朝刊「プロ野球開幕特集」に詳細情報掲載!

て、村井嘉浩知事は「大変高額な物件で、県の貴重な収入となる。地元商店街などが土地利用に関心を持っており、落札者は、街づくりに貢献する開発とするよう願っている」とコメントを出した。